

1・2号機燃料取り出しに向けた工事の進捗について

2026年1月29日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 1号機燃料取り出し計画の概要

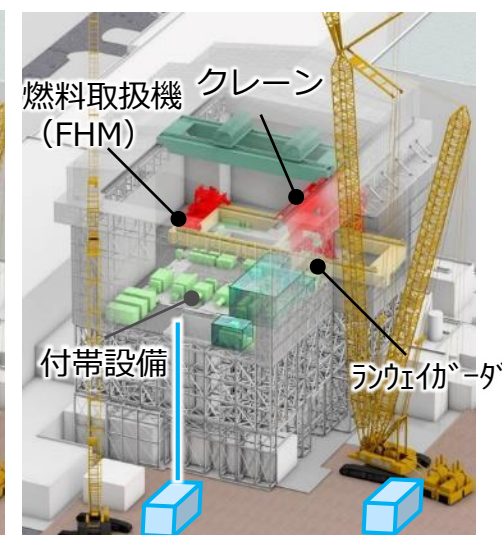
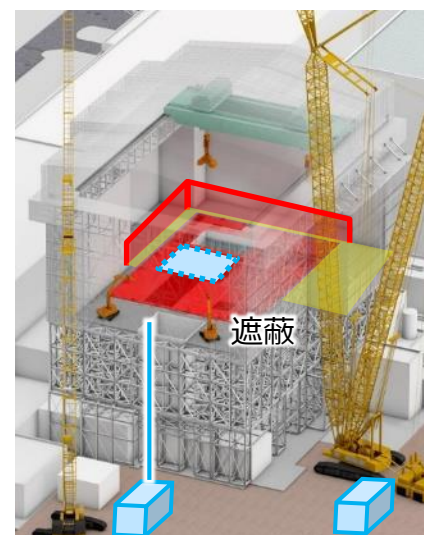
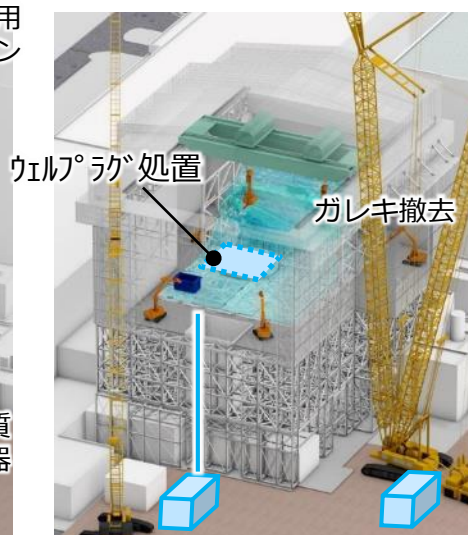
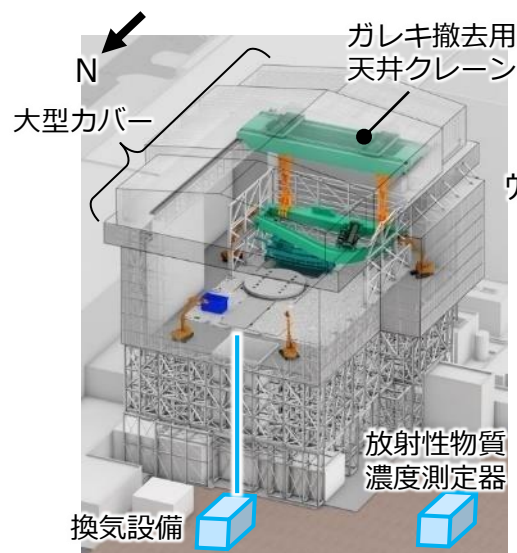
- 1号機使用済燃料プールには計392体※の燃料が貯蔵されている。より安定した冷却・貯蔵が可能となる共用プールへの搬出に向けて、燃料取り出しを実施する。

※使用済燃料292体，新燃料100体

- 燃料取り出しに先立ち、原子炉建屋を覆う大型カバーを設置し、大型カバー内でガレキ撤去、オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の除染・遮蔽を実施し、燃料取扱設備（燃料取扱機、クレーン）を設置する。

大型カバー設置完了
(2026/1/19)

燃料取り出し開始
(2027~2028年度)



※イメージ図につき実際と異なる部分がある場合がある

2-1. 大型カバー設置の状況（構外）

- 構外西門前ヤードでは、地組は全て完了しており、ガレキ撤去用天井クレーンの運搬に向けた準備作業を実施。



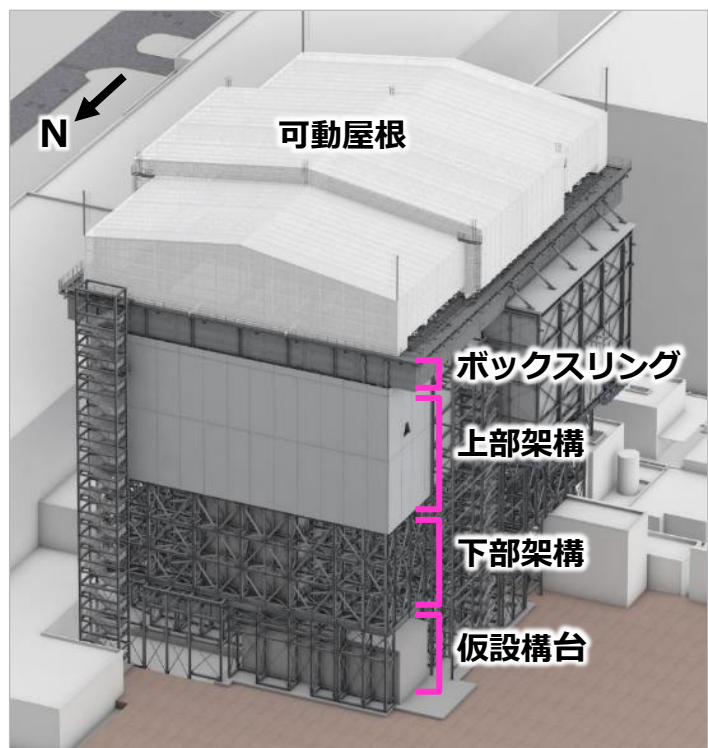
構外西門前ヤード（撮影：2026年1月13日）



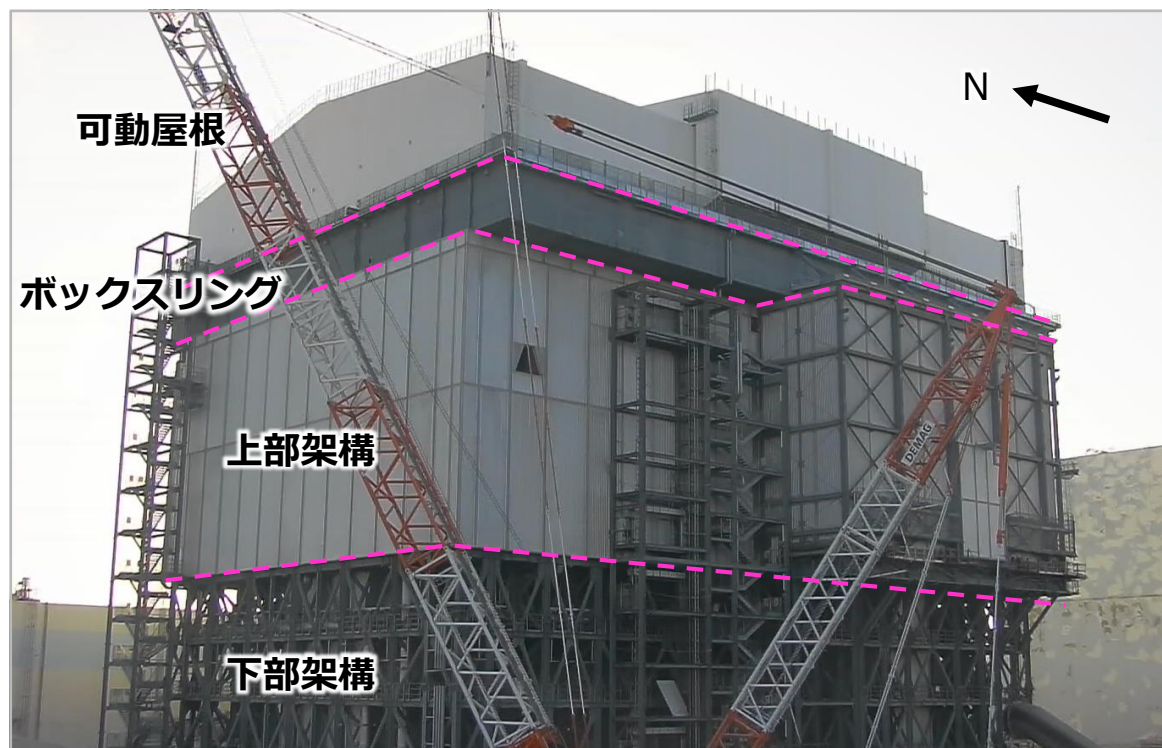
ガレキ撤去用天井クレーン スーパーキャリア積載時
(撮影：2026年1月19日)

2-2. 大型カバー設置の状況（構内）

- 1月13日に可動屋根（6/6ブロック目）の運搬・設置が完了。
- 1月19日の可動屋根の動作確認をもって大型カバーの設置が完了。
- 1月22日にガレキ撤去用天井クレーン（2/4ブロック目）の運搬・設置が完了。



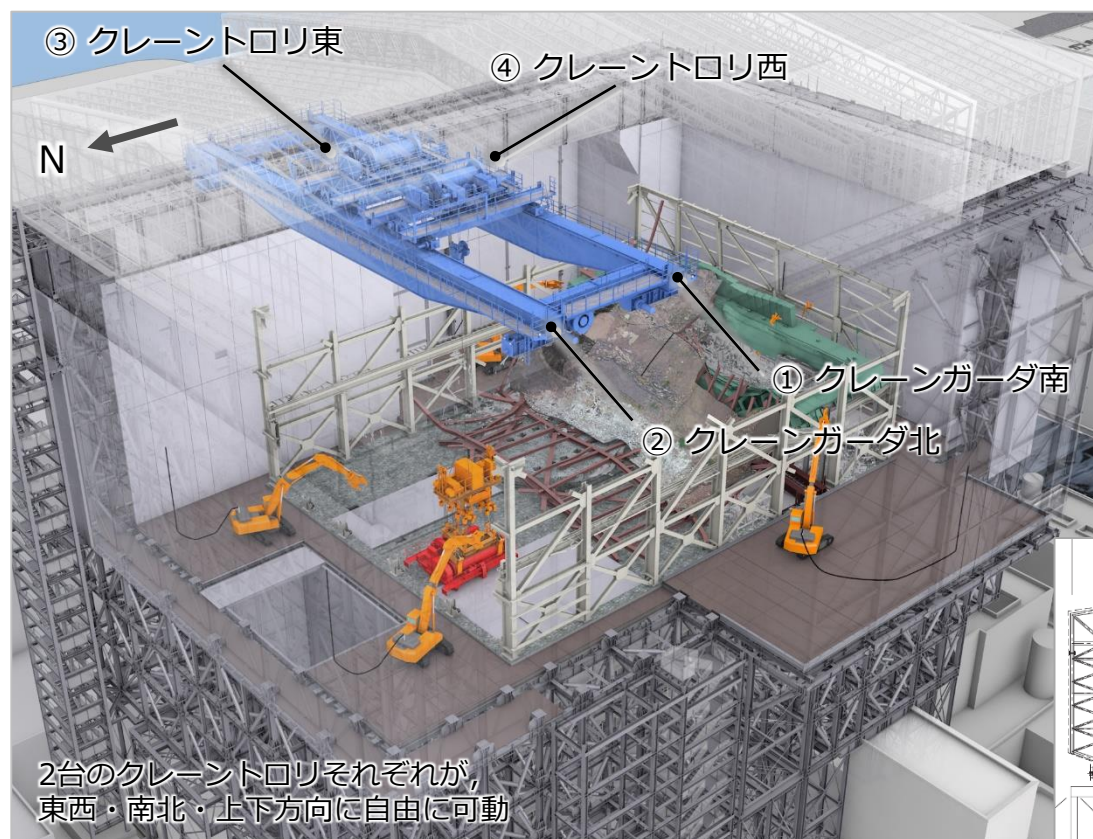
大型カバー全体の概要図



現場状況（撮影：2026年1月16日）

3. ガレキ撤去用天井クレーンの設置について

- 可動屋根の設置後にガレキ撤去用天井クレーン (以下, 「天井クレーン」という) の設置を行う。
- 天井クレーンはクレーンガーダ 2ブロック および クレーントロリ 2ブロック の計4ブロックで構成される。それぞれのブロックをひとつずつ運搬・設置する。
- 設置後, 試運転調整を経て, 2月中旬頃の落成検査を予定している。

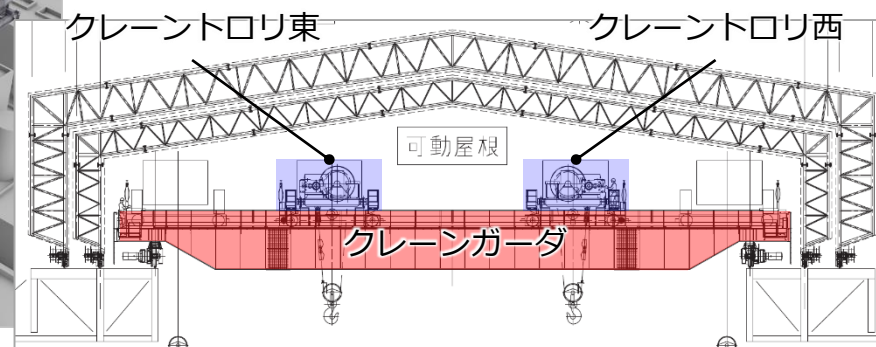


ガレキ撤去用天井クレーン 設置後のイメージ

※ イメージにつき実際の状況とは異なる可能性があります

天井クレーンの設置スケジュール

	運搬・設置予定日
① クレーンガーダ南	1月20日 (済)
② クレーンガーダ北	1月22日 (済)
③ クレーントロリ東	1月29日
④ クレーントロリ西	1月31日



ガレキ撤去用天井クレーン 立面図

4. 連続ダストモニタ計測値の定期報告と飛散防止剤定期散布について **TEPCO**

- 1月19日に1号機大型カバーの設置が完了し、オペフロがカバーで覆われた※ことで、放射性物質の付着した粉じんが環境に放出されるリスクが大幅に低減されたため、廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合／事務局会議における「1号機原子炉建屋オペフロの連続ダストモニタ計測値」の報告を2026年1月をもって終了する。なお、ダストモニタによる計測は継続し、計測結果は引き続き当社ホームページで公開する（公開場所は、＜参考1＞参照）。
- 上記同様、放射性物質の放出リスクが大幅に低減されたため、飛散防止剤の定期散布も2026年1月をもって終了する。なお、今後はガレキ撤去作業において作業計画に基づき必要に応じて飛散防止剤を散布していく。

※ ガレキ撤去用天井クレーンの設置やガレキ撤去、燃料取扱設備の搬入に際して屋根の開閉は実施する。



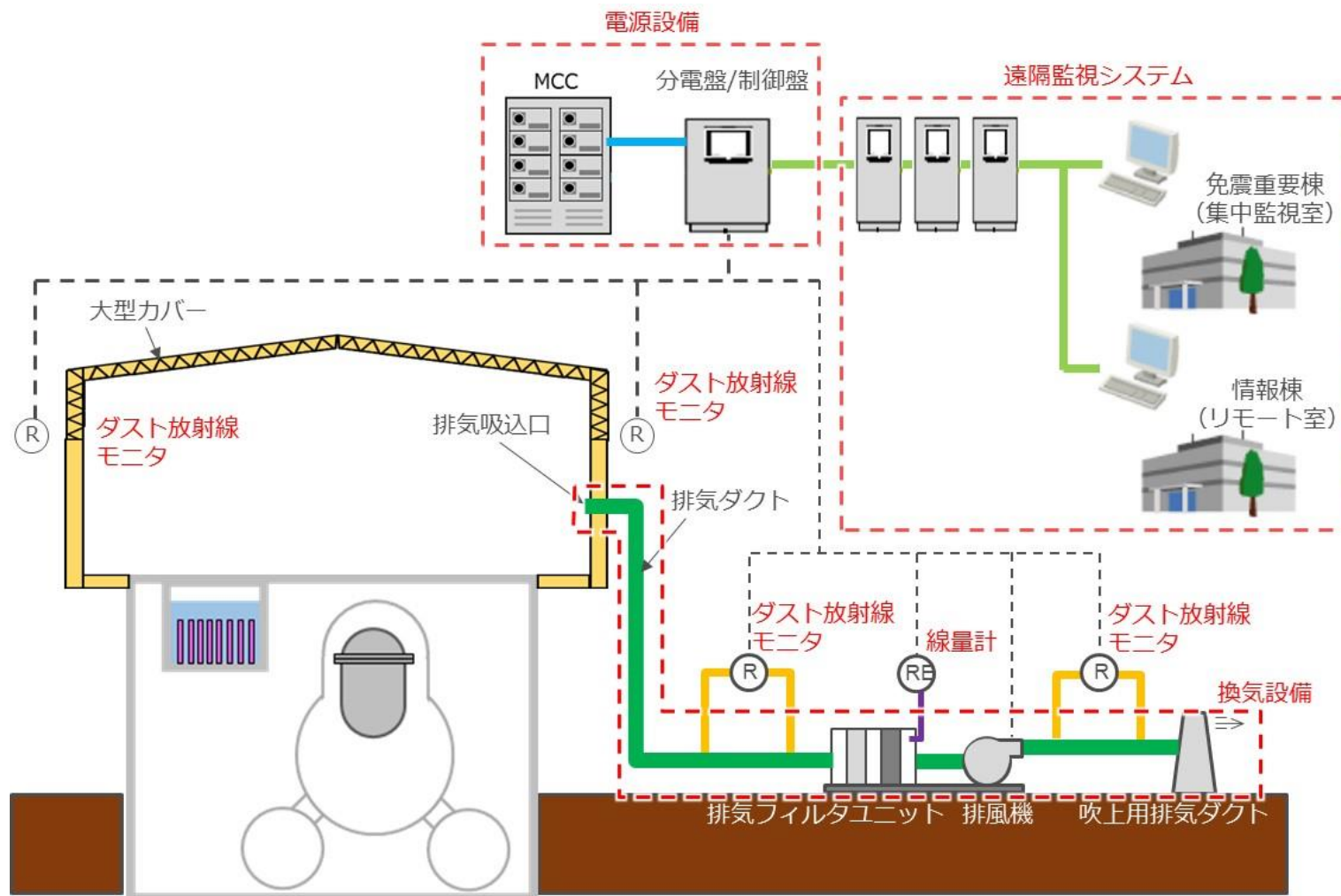
カバー設置前の1号機原子炉建屋



現在の1号機原子炉建屋

5-1. 大型カバー付帯設備の概要

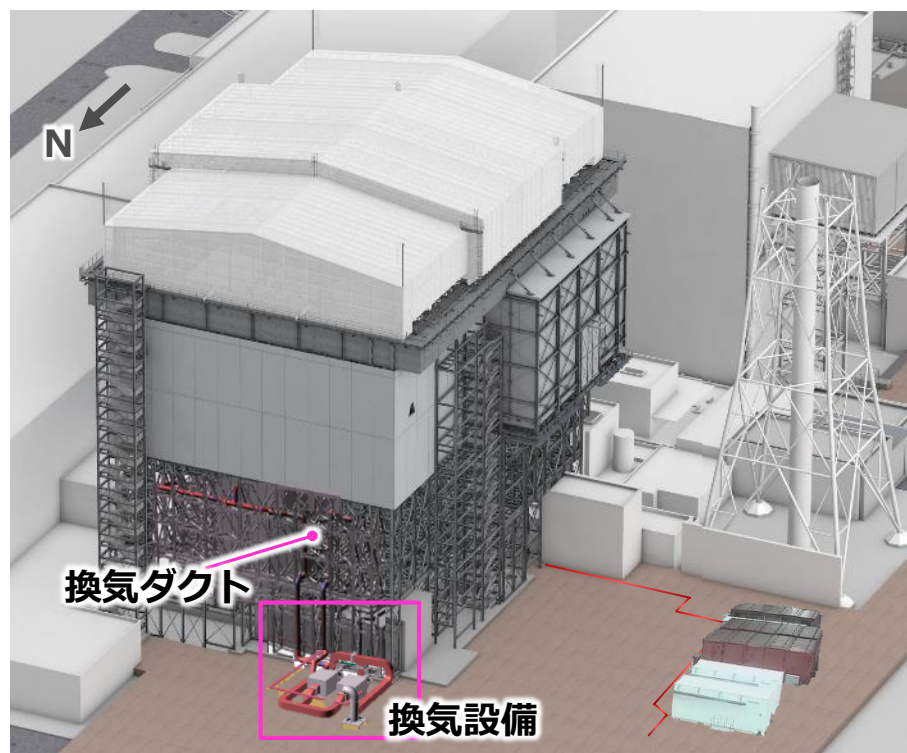
- 大型カバー設置後におけるガレキ撤去等に向けて，大型カバー付帯設備を設置。
- 大型カバー付帯設備は，換気設備，ダスト放射線モニタ設備他で構成。



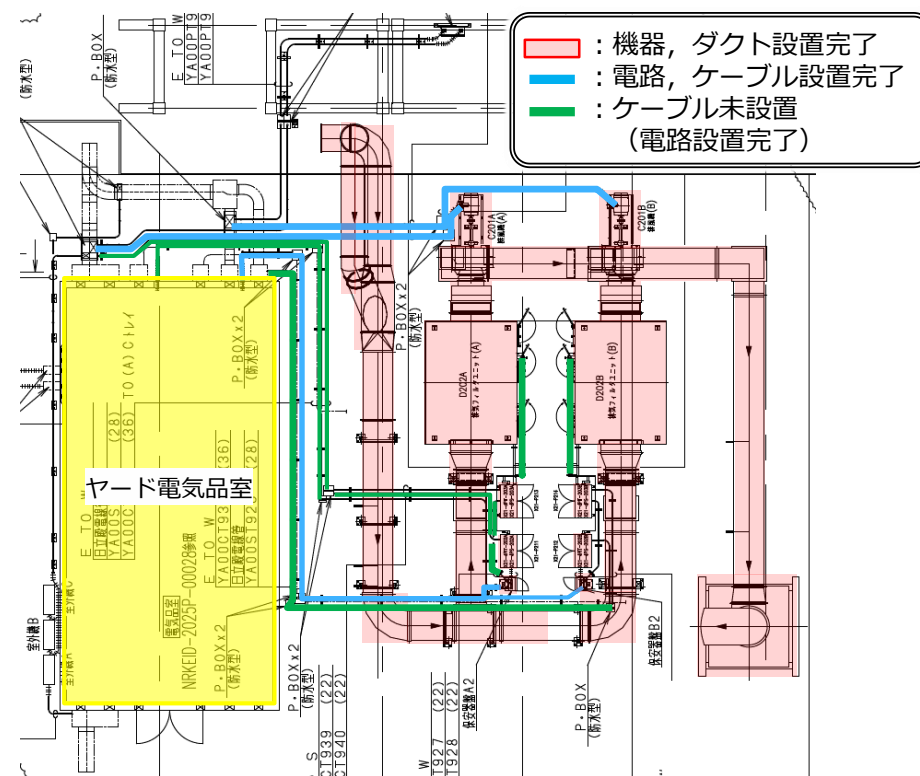
大型カバー付帯設備の構成イメージ

5-2. 大型カバー付帯設備設置の状況（換気設備）

- 2025年7月22日より，基礎ボルト設定に係る工事を開始。11月17日に当該基礎ボルトの設置，12月12日にフィルタユニット（2/2基）の設置を完了。現在，ダクト，ダクトサポート，ケーブル設置工事を実施中。



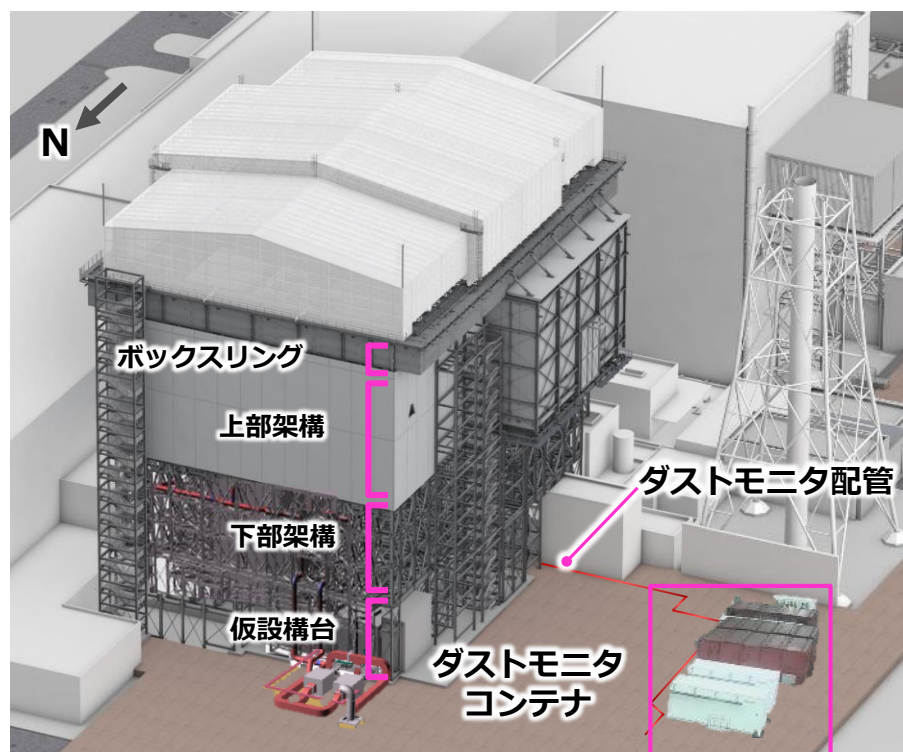
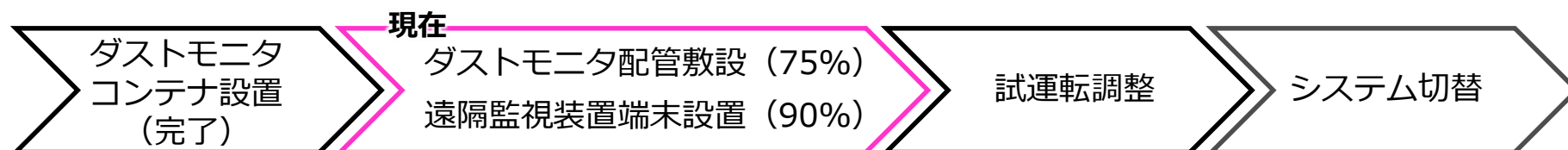
大型カバー付帯設備の概要図



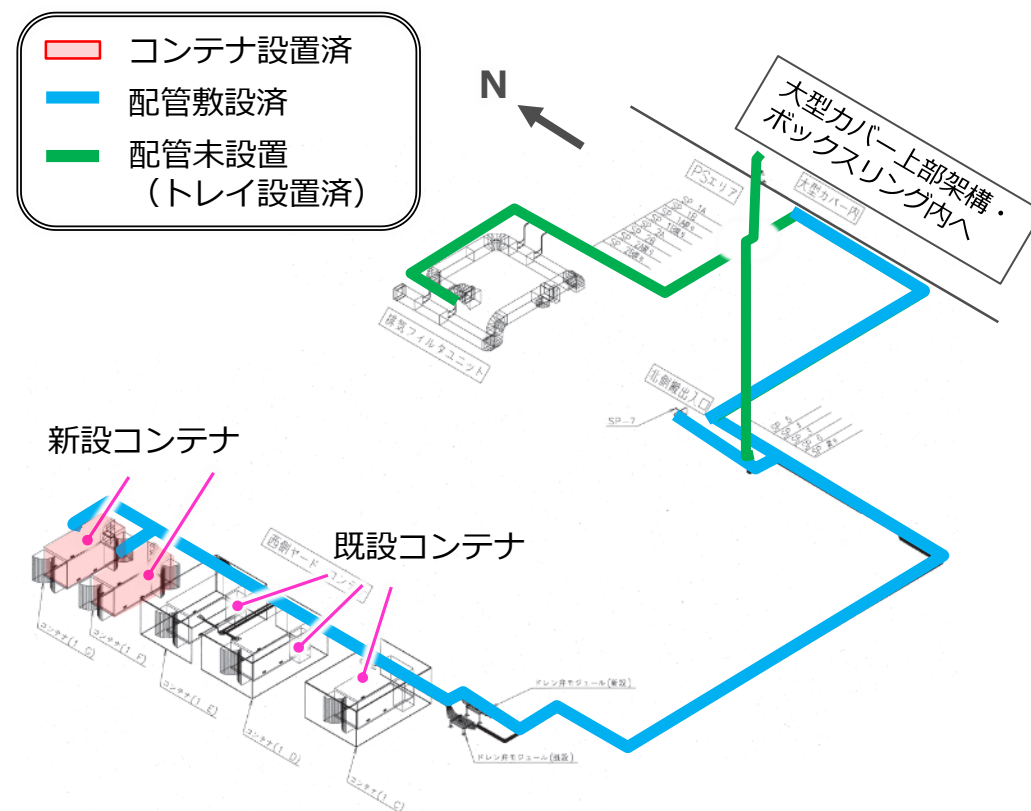
換気設備進捗：平面図

5-3. 大型カバー付帯設備設置の状況（ダスト放射線モニタ）

- 2025年7月15日より、ダスト放射線モニタ（以下、ダストモニタ）コンテナ設置工事を開始。7月16日に当該コンテナの設置，12月18日に免震重要棟・情報棟への端末設置完了。現在，ダストモニタ配管・ケーブル敷設中。



大型カバー付帯設備の概要図



ダストモニタ配管進捗：鳥瞰図

6-1. 4号機燃料取扱機の1号機への有効活用

- 廃棄物削減の観点から2013年に4号機に設置した燃料取扱機をメーカー工場へ輸送して改造を行い、1号機の燃料取扱機として有効活用する。
- 有効活用にあたり、以下を考慮する。
 - ✓ 法令※に基づいて機器を輸送する。
 - ✓ 持ち出した機器類は、メーカー工場から1Fに全て再送する。
 - ✓ 有効活用しない電気・計装部品、燃料把握機等は、搬出せず構内に保管する。

※「東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則」に基づき表面汚染密度限度の1/10を超えないことを確認した上で構外に搬出する計画

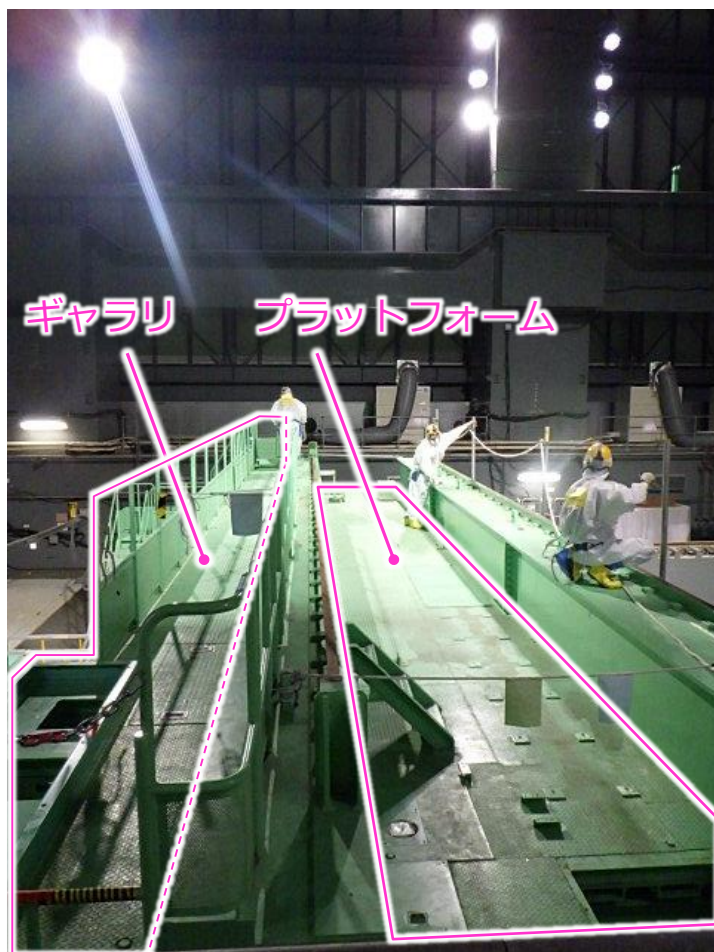


【作業フロー】



6-2. 4号機燃料取扱機の1号機への有効活用の状況

- 2025年11月4日から4号機燃料取扱機の分解・搬出を開始し、プラットフォーム・ギャラリの取り外しまで完了。
- 2025年度中に全部材の工場輸送を完了予定。



プラットフォーム・ギャラリー取り外し前
(撮影：2025年12月11日)



プラットフォーム・ギャラリー取り外し後
(撮影：2026年1月14日)

7. 1号機大型カバー設置工事ほか スケジュール

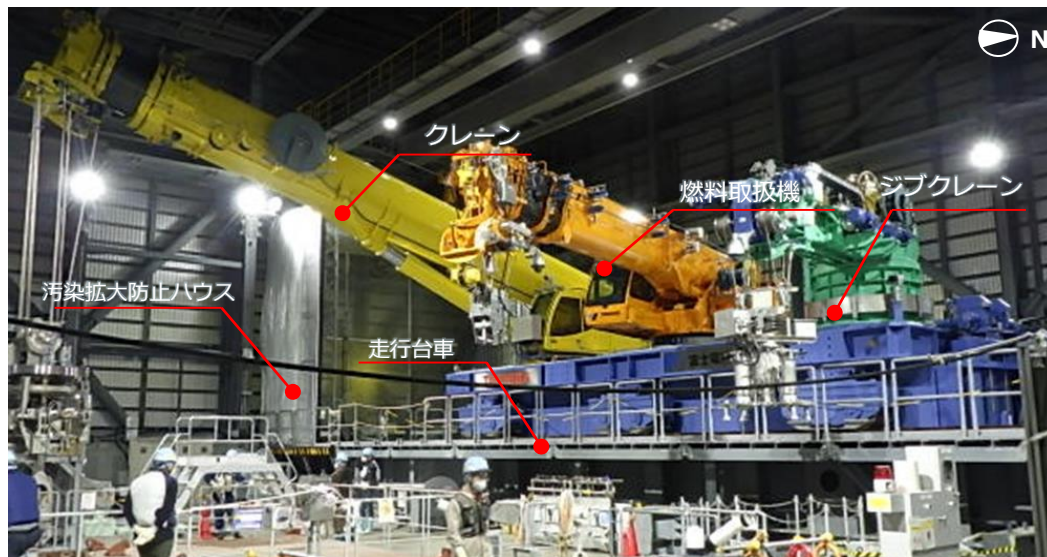
- 2026年1月19日に大型カバーの設置が完了。
引き続き、ガレキ撤去用天井クレーンの設置や換気設備他設置等の付帯作業を行う。
- また、オペフロ北側床面調査として、カメラによる調査を1月15日より開始。

	2025年度												2026年度								
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	下期		
実施計画	燃料取扱設備設置に関する実施計画									現在											
大型カバー設置 ・ガレキ撤去	外周鉄骨撤去									オペフロ北側床面調査											
	SFPゲート追加養生												ガレキ撤去								
	本体鉄骨建方(下部架構, 上部架構, ボックスリング, 可動屋根)																				
											ガレキ撤去用天井クレーン設置・試運転調整										
	作業ヤード整備, 構外ヤード地組, 運搬等																				
大型カバー 換気設備他設置	大型カバー換気設備他設置																				
クレーン／燃料取 扱機的设计・製作	燃料取り出し設備の検討・設計・製作【構外】																				
													4号機燃料取扱機搬出								

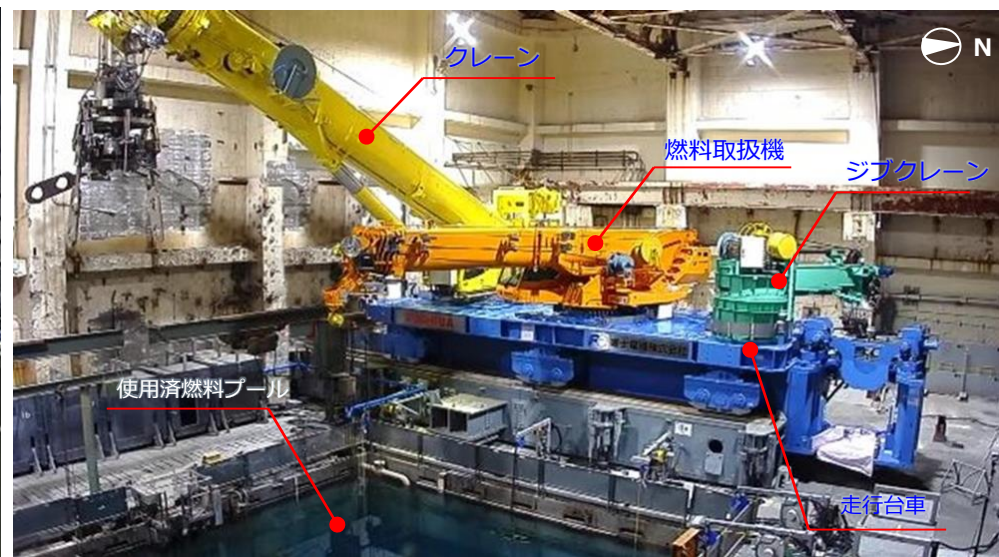
8. 2号機の燃料取り出し計画及び進捗について

- 2026年度の燃料取り出し作業開始に向け、燃料取扱設備設置作業を実施中。
- 2025年12月12日から試運転（ワンスルー試験※）を実施中。

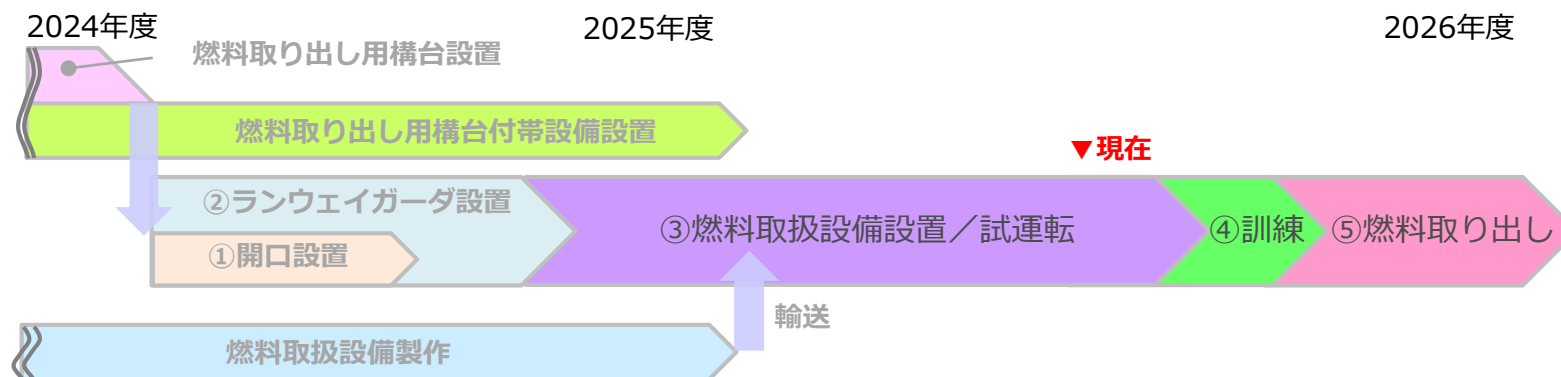
※構内輸送容器（以下、キャスク）及び模擬燃料を使用して燃料取り出し作業の流れを確認する試験。



燃料取り出し用構台内燃料取扱設備全景
（撮影：2025年9月8日）



原子炉建屋内燃料取扱設備全景（遠隔監視カメラにて撮影）
（撮影：2025年12月6日）



9-1. 2号機のキャスクピット底部清掃作業

- 2025年10月21日から水中清掃ロボットでキャスクピット底部の清掃を開始。
- 堆積物は粒径が細かいものが多く、吸引回収によりキャスクの設置に影響が無い状態まで清掃し、11月5日に完了。



水中清掃ロボット

＜装置仕様＞
寸法：約370×620×340 mm
重量：約18kg



水中ROV

＜装置仕様＞
寸法：約610×290×200 mm
重量：約8kg

水中清掃ロボットのホース

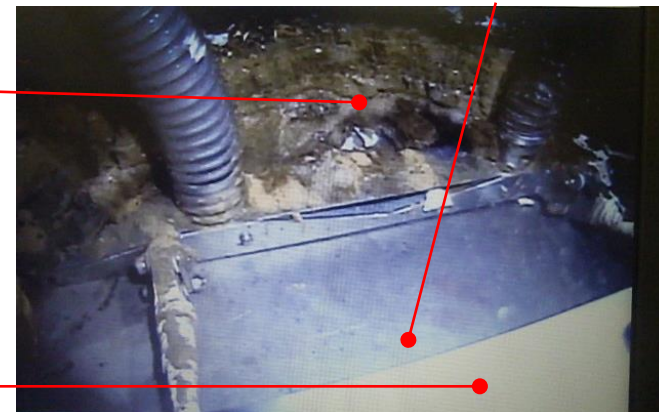


清掃前キャスクピット底部
(撮影：2025年10月22日)

堆積物

水中清掃ロボットの
本体

キャスクピット底部



清掃中キャスクピット底部
(撮影：2025年10月22日)

水中清掃ロボット 燃料貯蔵ラック

キャスクピットの柱



キャスクピット底部南東側清掃中
(撮影：2025年10月31日)

堆積物

水中ROV
アーム部

底部の金属面が見えている状態



清掃後キャスクピット底部
(撮影：2025年11月5日)

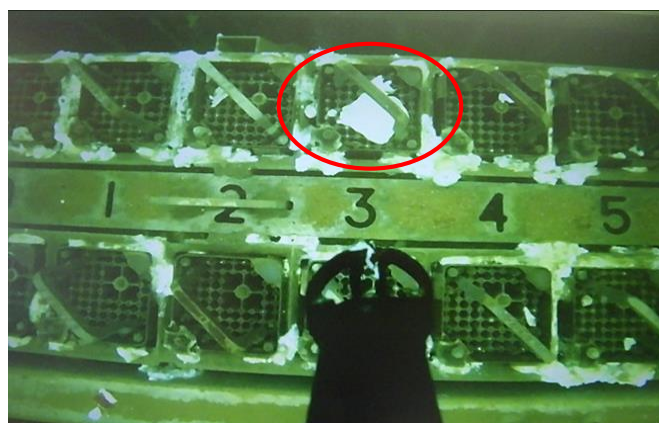
9-2. 2号機の燃料上部シート片等除去作業

- 2025年11月10日から水中ROVを用いて作業を開始し、燃料取り出しの支障になりそうなシート片等の除去を12月12日に完了。
- シート片等は薄いもので、プール周りの手摺に設置していたウレタンシートが劣化して薄くなったものや、建屋屋根部材から剥離した塗膜片と推定。
- 海水注入の影響により、燃料貯蔵ラック上に材料であるアルミニウムの白い腐食生成物の付着を確認しているが、3号機の燃料貯蔵ラックでも同様の白い付着物が確認されており、燃料取り出し作業に影響は無い。

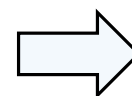


水中ROV

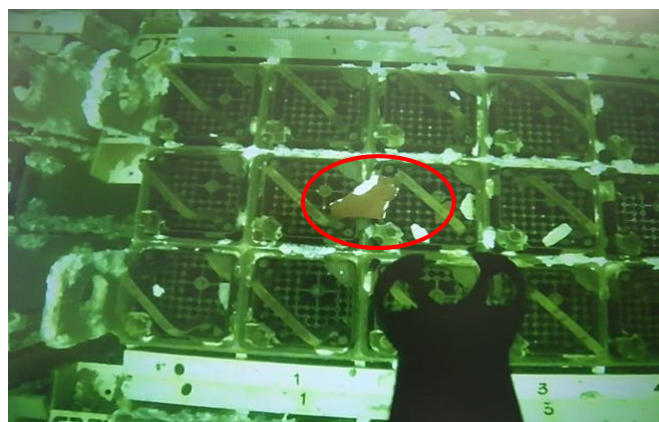
<装置仕様>
寸法：約610×290×200 mm
重量：約8kg



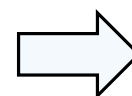
作業前（撮影：2025年12月10日）



作業完了後（撮影：2025年12月12日）



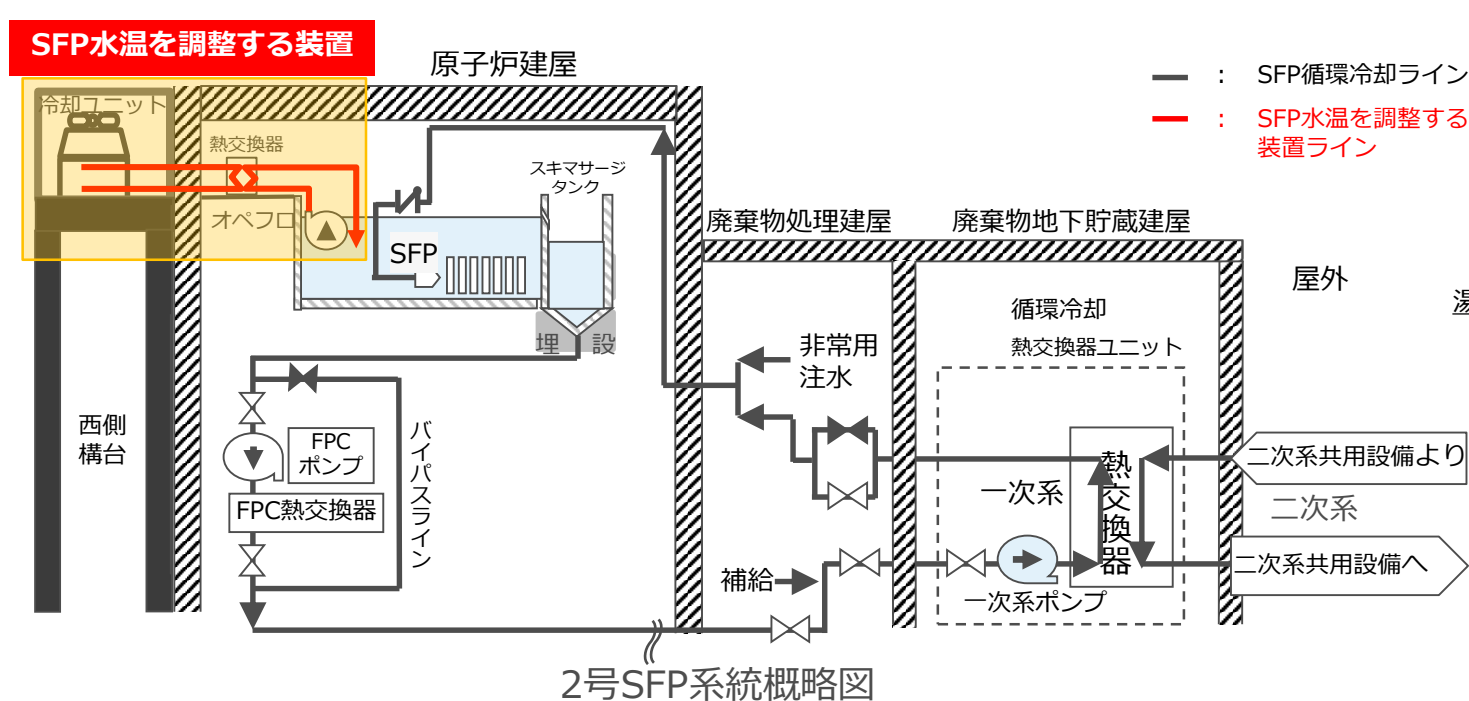
作業前（撮影：2025年12月11日）



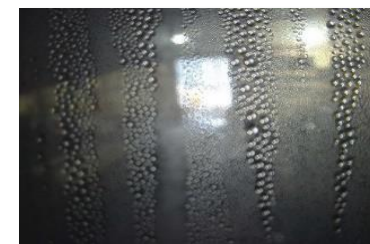
作業完了後（撮影：2025年12月12日）

10. 燃料取り出し期間中における2号機SFP循環冷却設備停止時の対応

- 2号機の燃料取り出しは2026年度に開始する計画としており、SFP循環冷却設備が停止し、湯気が発生すると燃料取り出し作業に影響を与えるリスクがある。（2024年度に約3.5月間停止した際に、水温と気温の差による湯気の発生を確認）
- このため、燃料取り出し作業を継続的かつ円滑に行うことを目的として、SFP水温を調整する装置を準備・保管し、SFP循環冷却設備停止に起因する湯気発生防止に備える。なお、当該設備は短期間で設置可能であり、現時点では必要な準備工事のみ実施。
- 2号機SFP循環冷却設備が停止した場合でも、実施計画で定める運転上の制限温度65℃を超えることはなく、安全上の問題はない。



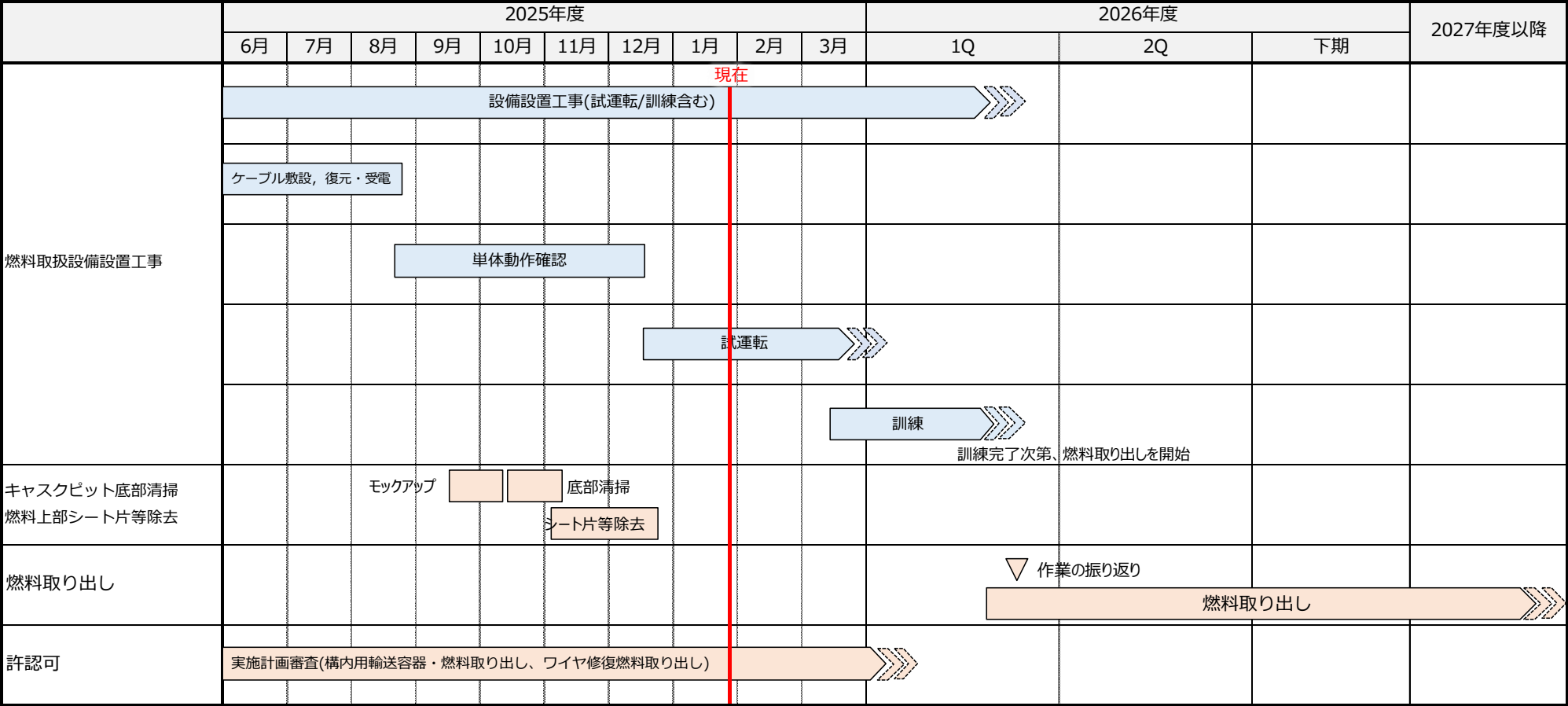
湯気発生時のSFP状況(2024年10月)



SFP湯気発生時における燃取準備用カメラの映像状況(原子炉建屋天井カメラ)

11. 2号機燃料取扱設備設置工事ほか スケジュール

- 2026年度の燃料取り出し作業開始に向け、現時点で順調に進捗。
- 安全最優先に作業を進めてまいります。



※工程の進捗により変更する可能性有
※線表については、準備・片付け作業期間含む

<参考1> ダストモニタ計測値の公開場所・閲覧手順について

- ① 当社HP (東京電力HD) より「福島への責任」>
「廃炉プロジェクト」>「公表資料」を選択



- ② 「公表資料」>「会議体等資料(中長期ロードマップの進捗状況など)」を選択



- ③ 「会議体等資料(中長期ロードマップの進捗状況など)」>
「中長期ロードマップの進捗状況(廃炉・汚染水・処理水対策
チーム会合／事務局会議)」>「至近の年月」を選択

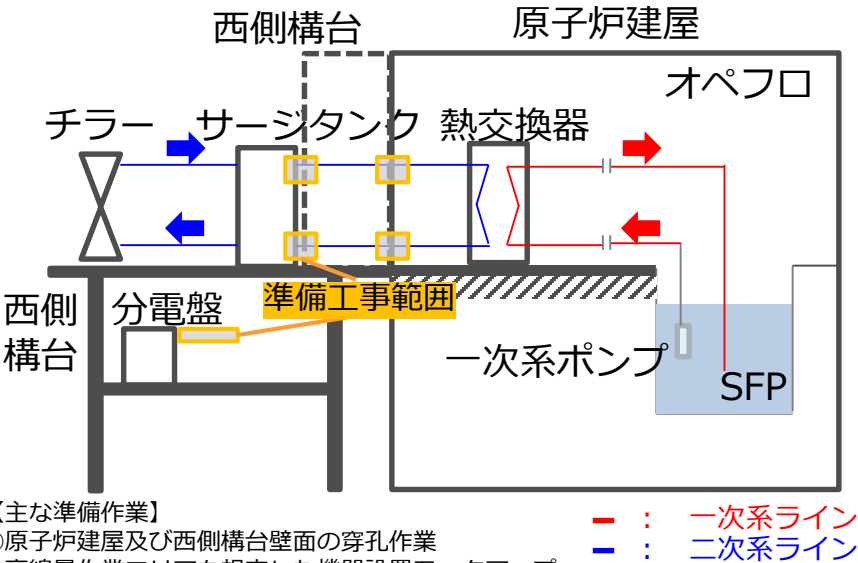


- ④ 「【資料3-6】 環境線量低減対策」>「1~4号機原子炉建屋
からの追加的放出量の評価結果」を選択・ダウンロード
※下図は、2025年12月分の閲覧例を示す



- SFPから直接取水した水を冷却し，SFPへ戻すことでSFP水温を低下させ，湯気の発生を防止する。
- 速やかな設置ができるよう，事前に機器購入（構外にて保管） 及び一部準備工事を行うこととし，燃料取り出し開始までに完了する見込み。
- 本装置が必要と判断した際に2ヶ月程度で設置を行う。
- なお，設置は原子炉建屋オペフロでの高線量作業を伴うため，モックアップ等を行い被ばく低減を図るとともに工程短縮に努める。

装置構成及び準備工事範囲



【主な準備作業】
①原子炉建屋及び西側構台壁面の穿孔作業
②高線量作業エリアを想定した機器設置モックアップ
③分電盤設置・電源ケーブル敷設
(③完了までの間は仮設発電機から受電し対応する。)

準備スケジュール

		2025年度	2026年度
		4Q	1Q
マイルストーン			2号燃料取出し開始
機器		機器製作 → 保管	
準備工事	機械	①準備工事（穿孔他） ②（高線量作業の）モックアップ	
	電気・計装	仮設発電機設置，仮設ケーブル敷設 ③分電盤設置・電源ケーブル敷設	